

## 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、サーズコロナウイルス 2 (SARS-CoV-2) による急性呼吸器疾患です。2019 年 12 月に初めて中国で報告され、その後世界中に流行が拡大し、日本では 2020 年 2 月に指定感染症に位置付けられました。埼玉県衛生研究所においても、2020 年 1 月から行政検査として COVID-19 の PCR 検査を行っています。今回は当所における 8 月 31 日までの COVID-19 の検査状況について報告します。

COVID-19 (疑い及び接触者含む) 症例は、1 月から 8 月 31 日までの期間に 10,882 症例の検体が搬入されました (表 1)。検査症例数は 2 月下旬から増えはじめ、3 月下旬から 5 月中旬にかけて週に 400 症例を超えました。6 月に一旦減少しましたが、7 月上旬から 8 月末までは、3 月下旬から 5 月中旬までと同等かそれ以上となりました (図 1)。

週ごとの陽性率は、検査症例数の第一の波 (1 月～5 月) では、3 月下旬から高くなり 4 月 6 日～19 日にかけて 20% を超えましたが、5 月は 0%～4% まで低下しました。第二の波 (7 月～8 月) では、再び 2%～12% の間で推移しています。

表1 COVID-19 月別検査状況 (2020年)

検体搬入月	検査症例数	SARS-CoV-2 陽性症例数	陽性率 (%)
1月	2	0	0
2月	123	2	1.6
3月	782	59	7.5
4月	2,275	316	13.9
5月	1,687	42	2.5
6月	673	17	2.5
7月	2,137	82	3.8
8月	3,203	150	4.7
合計	10,882	668	6.1

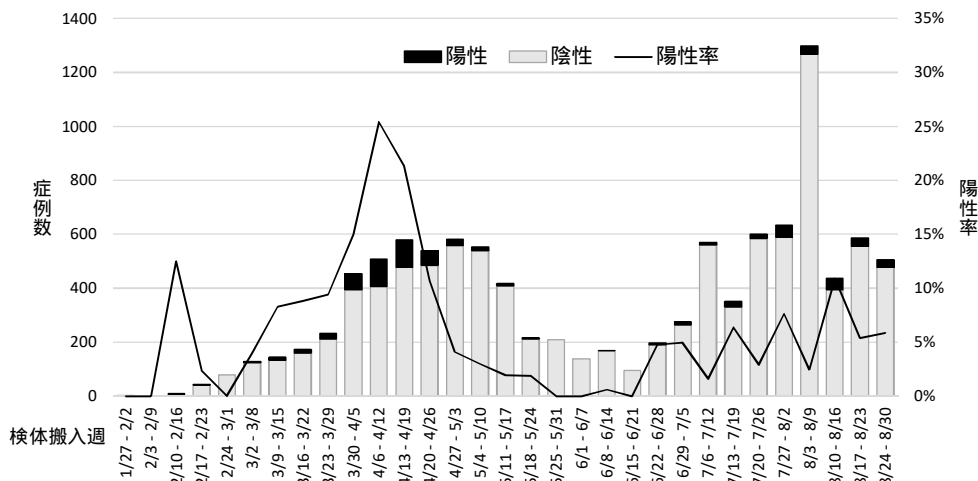


図1 COVID-19 週別検査状況

年代別の検査症例数は、20代の1,496症例が最も多く、30代から50代の各年代が約1,300症例、10代、60代から80代が約1,000症例でした（表2）。また、10歳未満及び90歳以上では、共に約500症例でした。年代別の陽性症例の割合は、1月～5月までは50代20.0%、40代18.4%、70代13.1%の順に高く、6月～8月では20代21.7%、40代15.3%、50代14.5%で、1月～5月と比べて20代の占める割合が高くなっています（図2）。

表2 COVID-19 検査症例の年代別内訳

検査症例数	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	合計
(全期)1-8月	523	955	1,496	1,338	1,354	1,245	988	1,130	1,055	431	10,515
1-5月	151	139	619	651	673	596	524	643	610	201	4,807
6-8月	372	816	877	687	681	649	464	487	445	230	5,708

年代不明症例は除く

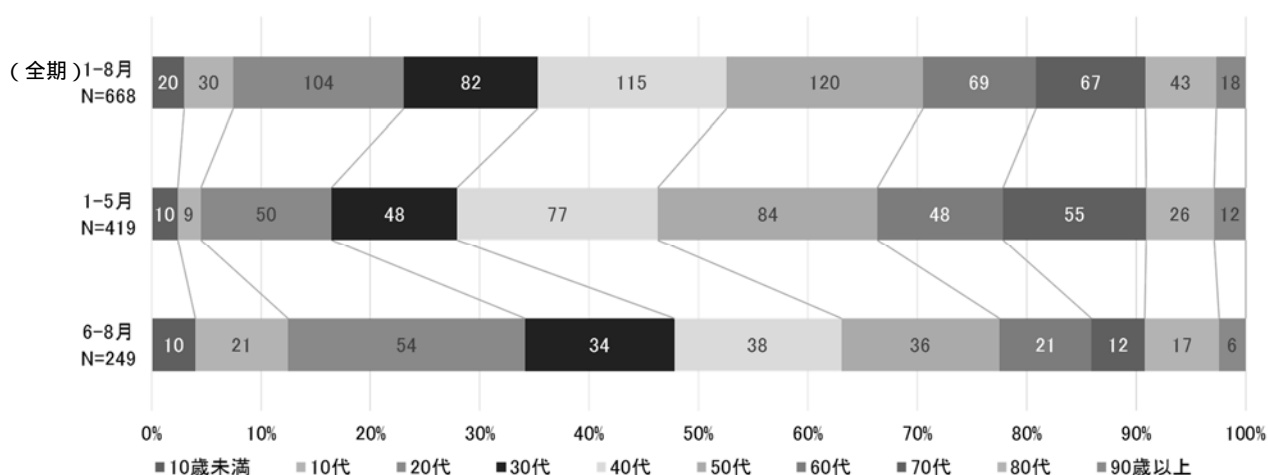


図2 COVID-19 陽性症例の年代別割合  
(1月～5月と6月～8月の比較)

なお、埼玉県では新型コロナウイルス感染症総合サイト ([http://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/COVID19\\_sougousite.html](http://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/COVID19_sougousite.html)) で情報提供を行っておりますのでご参照ください。